広報
さわおとのもり
平成２３年７月　　第８号
発　　行：特定非営利活動法人さわおとの森
発行責任者：理事長　楡 木 正 俊
〒981-0123　宮城郡利府町沢乙字欠下東 18 番２
Tel:022(767)4338　　Fax:022(767)4347

来年４月からの障がい児の福祉サービス

多機能サポートランドさわおとの森　園長　高橋　繁夫

平成２４年４月に障がい児の福祉サービスが大きく変わります。それは、児童デイサービス（午前中が未就学児、午後が学童児対象）の名称が変更となり、未就学児部分が“児童発達支援センター（仙台市なのはな園等の知的障害児通園施設等と一元化された定員２０人以上の事業、定員２０人未満は児童発達支援事業という名称）”となり、学童児部分は“放課後等デイサービス”となります。このほかに医療と福祉の両方を併せ持つ“医療型児童発達支援”（県内では拓桃医療療育センターやエコー療育園みつばちなど）もできるようです。

さらに“保育所等訪問支援事業”が新たに事業化されます。これは、統合保育として受け入れている障がい児だけでなく、健常児枠で発達等で気になる子ども？！をも対象に、その親が市町村へ申し込めば（療育手帳無可）児童発達支援センター等のスタッフがその保育所等へ訪問して園生活になじむための支援を行う事業です。この事業は、最初から保育所等へ入園した児童だけでなく、たとえば、さわおとの森のどんぐりクラブ（未就学デイサービス）を卒業して保育所等へ入園し、他の子たちとの関係がうまくとれない場合等にさわおとのスタッフが入園先へ訪問してアドバイスを行うこともできると思われます。ほか、障害児相談支援事業も創設されます。これはそのお子さんにとってどのような支援が必要が、生活全般の支援計画書を作る事業と思われますが、詳細はまだ出ておりません。しかしアスペルガー（知的な遅れは少なく対人関係等の障がい）や ADHD（脳の障がいによりじっとしていられず集中力がない）などの発達障がい児は多くなってきており、ごく幼少のころから社会性を身につける支援を受けることが非常に大切であり、それを保育所等で専門的支援を受けられることは非常に意義深いことであり、並行してその子を育てる親の支援も可能かと思われます。

当法人は障がい児支援を中心に、常勤の作業療法士の他に２名の心理職と２名の言語聴覚士を委託しており、児童デイサービスや短期入所などの障害福祉サービス利用者のアドバイスだけでなく、「利府町乳幼児発達相談支援事業（森の相談室・こあら教室）」「塩竈市障害児・者発達等相談支援事業（ひまわり相談）」「松島町ことばと発達の教室（ひなたぼっこ）」の発達相談を受託しております。上記の新事業の中で発達が心配なお子さんや障がい児及びそのご家族に対して信頼のおける療育支援・発達支援の充実を今後も図っていきたいと考えております。（この制度内容は今後変更になる可能性もあります）

新入職員紹介

さとう　ちひろ
佐藤　千裕
さわおとの森
くるみ・ショート担当保育士

ただの　あつこ
只野　厚子
さわおとの森
くるみ
担当看護師

さいとう
斉藤　みどり
さわおとの森
くるみ・ショート担当指導員

わたなべ　ふみき
渡部　史起
さわおとの森
わのみ・ショート担当保育士

たかはし
高橋　ルミ
さわおとの森
調理員

ゆきもと　みか
行本　未佳
あのねの森
学童デイ・ショート担当指導員

わたなべ　あや
渡部　綾
あのねの森
学童デイ
担当指導員

すでに、ご存じのかたもいると思いますが、改めてご紹介させていただきます。法人職員数も全部で４５名となり、ますます元気なさわおとの森となりました。

日本財団より寄贈！

居宅介護事業サービスを利用する方のお宅にお伺いする際に使用する車両を日本財団から寄贈をお受けいたしました。日本財団へこの場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

平成２３年２月１６日に納車され、さわおとの森で毎日活躍しております。

ボランティア募集

特定非営利活動法人さわおとの森では、ボランティアの方々を随時募集しております。どうぞお気軽にご連絡ください。

（例）
- 未就学児～中学生の子供たちの遊び相手、障がい者（成人）の遊び相手・お話相手、障がい児・者の買い物の付き添いや公園などへの外出の際の手伝いなど
- 未就学児とともに通ってくる兄弟（乳幼児）のお世話（一部有償）など

＜お問い合わせ＞
菅野桂子・阿部吉朗　まで

編 集 後 記

今年度初めての法人会報を発行することができました。今回は、法人３施設をご利用されているご利用者の‘笑顔’をテーマに作成しました。いかがだったでしょうか？ 溢れる笑顔、支援する職員サイドも元気をもらえる、そんな場面が数多く見られる今日この頃です。近隣ではまだまだ震災の名残を感じさせられるところですが、その笑顔を絶やさぬよう今後も取り組んでいきたいと思います。次回発行は今年の１２月を予定しています。お楽しみに！！

東日本大震災時の対応　　―皆様に感謝―

～理事長　楡木　正俊～

当法人の運営に対しまして、日頃よりご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、この度の大震災にて被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧復興をご祈念申し上げます。

大震災による当法人の被害状況は、幸いにさわおとの森、ひまわり園、あのねの森３施設の建物の被害はほとんどなく、津波により床上浸水のあった利用者宅が数件、津波により住まいを失ったスタッフ宅が１件ありましたが、犠牲者は一人もおりませんでした。大震災直後よりライフラインが止まり、停電のうえガソリンや食料等の調達も困難となったため休業せざるを得ませんでしたが、さわおとの森は電気が復旧した３月２２日より事業を再開、翌２３日からはひまわり園、あのねの森も再開することができました。

再開後、食料品に購入制限（生鮮食品の品切れ）があり、調達困難な状況の時に災害ボランティアセンターや NPO 団体・ご家族・行政機関より食料品や日用物品の救援物資の援助等たくさんのご支援をいただきました。また、地主さんから飲料水の提供や入浴用に湯炊きするためのかまどを借用でき、多くの方々のご協力のお陰で、大変な時期を乗り越えることができました。心より感謝申し上げる次第です。

東日本大震災時にご支援・ご協力を頂いた皆さまです。心より感謝を申し上げます m(_ _)m

- 多数の利用御家族様：おやつ・食材等の提供
- 就労支援センターバンビの森様：多数の米や食材の提供
- 被災地障害者センターみやぎ様：ボランティア派遣
- みやぎ発達障害者サポートネット様：玩具・塗り絵・菓子等提供
- 宮城県手をつなぐ育成会様：アニメ DVD 提供
- 菊地喜久雄様：ローリータンク・水・かまど借用
- 東北大学教育ネットワークセンター
  コンサルテーション事業発達相談様：学生ボランティア派遣
- 佐藤ひろみ様：菓子類提供
- 日本興亜おもいやり倶楽部（日本興亜損保）様：１０万円助成金
- 学研：教材道具提供
- 愛知児童発達支援連絡会様：工作用紙提供
- 市町福祉課並びに市町災害ボランティアセンター
  ：寝具類・おむつ・マスク・インスタント食材等提供
- いがり音楽療法研究所様：利用児・者への音楽療法
- たんがら森様：３月末に生活介護等多目的スペース工事　順不同

大震災に殆ど影響のなかった“多機能サポートランドさわおとの森”の建物

利用児・者も今ではすっかり元気を取り戻し毎日元気に活動を行っております。

今年度の事業を進めるに当たりましては、まだ余震が続く中でもあり、十分留意しながら前向きに取り組んで参りますので、今後ともご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

賛助会費のご協力依頼

平成２２年度も多くの皆様方より暖かいご支援をいただきました。改めまして心よりお礼を申し上げます。

おかげさまで良い支援活動を図るための力とさせていただくことができました。

（別紙にて平成２２年度賛助会員及び寄付者名簿を掲載させていただきました。）

今年度も安定した事業を推進していくためにも、引き続き皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

会費の納入は同封の振込用紙をご使用いただきますようお願いいたします。

すでに納入いただいた方に対しては、厚くお礼を申し上げます。

さわおとの森の笑顔

どんぐりクラブ（未就学デイサービス）

どんぐりクラブ　ママと一緒うれしいな
お友達と一緒　うれしいな
今までできなかったこともホラ！見て見て
できるようになったよ
センセイ達もうれしくてみーんな笑顔になったよ
作業療法士や心理士・言語聴覚士の先生からたくさんアドバイスをもらって助かっています。

カッコよく変身したパパたち

どんぐりミニ運動会

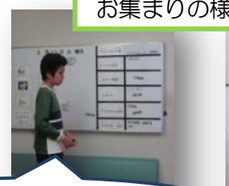
私も変身したよ！

くるみクラブ（学童デイサービス）

学童デイサービスでは、子供たちが役割を持つことで自信や満足感を得ることができたらという思いから、お集まり時の「今日のお当番」という係を作りました。始めたばかりの頃は、職員に促されて、渋々だった子供たちが、今では登園するとすぐに自分の意志でやりたい係を選ぶようになりました。子供たちの成長に日々驚かされております。

今年度も子供たちの笑顔がたくさんみられるような活動を考えて、くるみ職員一同、力を合わせて支援をしていきたいと思います。

お集まりの様子



今日はおやつ運びします

大きな声で歌いましょう♪

活動の様子

みんなでおでかけ楽しいな

わのみ（生活介護）

生活介護「わのみ」も開設から２年目を迎え、ご利用者増加も伴いますます活気づくこの頃です。作業、ストレッチ、運動、レクレーション、外出 etc…　毎日楽しいことばかりではないですが、ご利用者にあった過ごし方を模索しながら、少しずつでも満足と笑顔が生まれるように取り組んでおります。また、地域企業との連携を強化、利府町にある麺屋久兵衛さん（つけ麺が特においしいです!(^^)！）のリサイクル箸の管理や駐車場の管理のお手伝いをさせていただいております。それ以外に、定期的にバス停や公園などを少しずつ順番に回り清掃活動も展開していく予定もあります。下の写真の一つは、さわおとの森のすぐ下のバス停の落ち葉やゴミ拾いを行い、満足と笑顔でいっぱいの場面です。

開設2年目！

生活介護
『わのみ』

わのみ棟

地域清掃活動

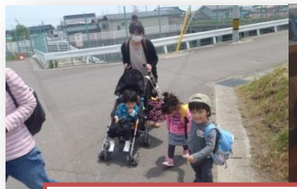
地域企業麺屋久兵衛

※　このほかにさわおとの森では短期入所、居宅介護、行動援護なども行っておりますが、紙面の都合上次号で掲載いたします。

やっと２年目！あのねの森の笑顔

昨年開所したあのねの森は今年５月に１周年を迎えました。
１年前と比べ利用者さんも増え、また、昨年１０月より始まった午前の未就学デイも今年度より毎日の開所となり、子どもも大人も毎日笑顔の絶えない場所になっています。
保護者の方からは「子どもがあのねをとても楽しみにしている」というお言葉もいただき、職員一同うれしく思っています。今年２年目となるあのねの森ですが、これからもよろしくお願いします。

～未就学児の様子～



親と一緒に通園し、個別課題をしたり、音楽遊びや運動遊び、お出かけなどの集団療育をしています。

～学童児の様子～

学童児を中心に、園内での製作やクッキング、買い物体験など、社会体験や社会資源を活用した活動など、子供たち自身が楽しみながら積極的に参加できる活動を展開しています。最近では、子供たちのほうから「したい」「行きたい」などの声もたくさん聞かれるようになりました。(^.^)

作業療法士と心理士の相談アドバイスのほかに、今年度から言語聴覚士の先生が毎月１回、主に未就学の子どもたちを対象に、本人やご家族に対し、言語・摂食相談を実施します。

ひまわり園の笑顔

盛り上がったカラオケ大会！僕の歌を聴いて！

うまくできるかな…？

ひまわり園は、日々、多くの笑顔に囲まれています。子ども達の、何かをほめられた時の嬉しい笑顔、お友達と遊んだ時の元気な笑顔、お母さんが作ってくれたお弁当を食べておいしい笑顔。そんな数えきれない笑顔に囲まれ、職員も沢山の笑顔をもらい、楽しい雰囲気のひまわり園でいることができています。
何より、子ども達がひまわり園での活動を楽しんでいる姿を見ると、私たちはとても嬉しい気持ちになります。これからも「また行きたい」と思ってもらえるような、楽しいひまわり園を創って行きたいと思います。ひまわり園でも未就学児を中心に作業療法士や心理職・言語聴覚士の先生のアドバイスを実施しております。

３市町より発達相談を受託

平成１９年５月から利府町保健福祉センターで実施する「利府町乳幼児発達相談支援事業（森の相談室とこあら教室）」、平成２０年４月より塩竈市ひまわり園で実施する「塩竈市障害児・者発達等相談支援事業（ひまわり相談）」、平成２２年１２月より松島町希望園で実施する「ことばと発達の教室（ひなたぼっこ）」と３市町から委託を受けて実施。当法人が運営している園の利用児だけでなく、この地域の在宅障がい児及びそのご家族に対しての療育支援・発達支援の充実を図ってきており、地域自治体や住民からの信頼も厚くなってきております。